

授業概要

本講義では、心理学が学問としてどのように成り立ち、発展してきたかについて紹介する。また、日常生活の中で経験される行動と心理学の基礎知識を関連づけながら、人間の行動を形成している諸側面について概説する。さらに、心理学的視点を習得し、自分自身や他者への洞察力を深めていく。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	心理学の歴史と発展
第 3 回	心的現象の生理学的基礎
第 4 回	意識と注意
第 5 回	感覚・知覚・認知
第 6 回	記憶と学習
第 7 回	欲求と感情・動機づけ
第 8 回	中間試験・振り返り
第 9 回	心の発達：胎児期～児童期
第 10 回	心の発達：青年期～老年期
第 11 回	心の発達を研究する方法
第 12 回	社会と心理：個人と社会のつながり
第 13 回	社会と心理：集団の心理
第 14 回	社会と心理：仕事と組織、リーダーシップ
第 15 回	まとめ
第 16 回	定期試験

到達目標

- 心理学の基礎知識を説明できる。
- 心理学の歴史の大きな流れを踏まえ、その中で人間に対する見方、理解がどのように変化・発展してきたかについて説明できる。

履修上の注意

- 交通遅延などの特別の理由以外による大幅な遅刻・早退など、受講態度に問題がある者は出席と見なさない。また、授業中の妨害行為および指示への不遵守については退室を求めることがある。(講義中に配布する小レポート用紙を受け取り、これを講義終了時に提出すること)
- 本講義に関連して、心理学に関する調査や実験の協力を依頼する可能性がある。
- 初回オリエンテーションでは具体的な授業の進め方、注意事項について説明するため、**必ず出席すること。**
- 質問は、講義内でも応じるので、わからないことはそのままにしないようにすること。
- 主に講義形式で行うが、グループワークなども行うので積極的に参加すること。
- 本科目は、公認心理師となるために必要な科目(公認心理師法施行規則第 1 条の二)に対応している。

予習・復習

- 予習として講義内容に含まれるキーワードについて調べること。
- 復習として講義で用いた資料を読み返すこと。

評価方法

試験の結果 70%、毎回の授業課題 30%を総合した上で評価を行う。
※小レポート、中間試験、定期試験の成績にかかわらず、出席回数が 3 分の 2 に満たない者の単位認定は行われない。

テキスト

特に指定しません。講義は配布資料に基づいて進めます。
参考図書は講義内でその都度紹介します。